

●岐阜支社

岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階
058(266)7576
F A X 058(262)6571

●東濃支局

多治見市精華町73
セントラルコーポ多治見306号
0572(23)7812

●西濃支局

大垣市本町2-6スタッドI 602号
0584(75)1289

岐阜

城山産業

金型工場を新設

スペース2.5倍に

治具ボイラー更新 製作機能すべて移転

モーター用コアなどを製造する城山産業(本社大垣市釜釜4の18、竹中幸三社長、電話0584・89・1010)は、精密金型の新工場を建設する。大垣市外野にある第2工場敷地内に来年末までに完成させ、スペースを現状の2.5倍に広げる。また本社工場でもプレス設備の増強などを計画。「老朽設備の更新や能力アップも含めて、高精度に対応していく」(竹中社長) 考えだ。

本社工場プレス設備など増設

これまで金型製作は本社工場敷地内で行ってモーター用コア生産の「てきたが、精密化・大

型化ニーズが高まる一方、製作スペースが手狭でプレス設備による振動影響の懸念もあった。このため、2007年に開設したトランス用コア生産の第2工場敷地(総面積約1万1千平方メートル)内に拡大

型化ニーズが高まる一方、製作スペースが手狭でプレス設備による振動影響の懸念もあった。このため、2007年に開設したトランス用コア生産の第2工場敷地(総面積約1万1千平方メートル)内に拡大

み残す。また、本社工場ではモーター向け設備投資をおよそ3年ぶりに再開し、来年1、2月にかけて300トプレス2台、200トプレスを1台増設する。老朽化が進む主力工場の建屋は1年半後をめどに建屋更新を検討している。一連の投資総額は10億円にのぼる見通し。

移転することにした。金型工場は平屋一部2階建て、面積約1300平方メートルで、来年5月以降に着工予定。移設に合わせてマシニングセンター1台を増設し、門型治具ボイラー1台も大型化対応に更新する。製作機能は全て新工場に移し、本社工場はメンテナンス機能の高を更新している。

型化ニーズが高まる一方、製作スペースが手狭でプレス設備による振動影響の懸念もあった。このため、2007年に開設したトランス用コア生産の第2工場敷地(総面積約1万1千平方メートル)内に拡大

型化ニーズが高まる一方、製作スペースが手狭でプレス設備による振動影響の懸念もあった。このため、2007年に開設したトランス用コア生産の第2工場敷地(総面積約1万1千平方メートル)内に拡大

型化ニーズが高まる一方、製作スペースが手狭でプレス設備による振動影響の懸念もあった。このため、2007年に開設したトランス用コア生産の第2工場敷地(総面積約1万1千平方メートル)内に拡大



型化ニーズが高まる一方、製作スペースが手狭でプレス設備による振動影響の懸念もあった。このため、2007年に開設したトランス用コア生産の第2工場敷地(総面積約1万1千平方メートル)内に拡大

型化ニーズが高まる一方、製作スペースが手狭でプレス設備による振動影響の懸念もあった。このため、2007年に開設したトランス用コア生産の第2工場敷地(総面積約1万1千平方メートル)内に拡大